



タンザニア

売れ筋商品調査【6】

衣：ポロシャツ、スニーカー、サンダル

- 調査実施日 : 2015年 11月14日～2016年1月23日
- 調査場所 : ダルエスサラーム〔シティセンター、カリアコー、イララ、オイスターベイ、ダルエスサラーム大学、ウブンゴ、ムウエンゲ、クンドウーチ の各地区〕
- 調査対象品目 : 衣料品（ポロシャツ、スニーカー、サンダル）
- 調査方法 :
 - 小売店に対する聞き取り調査
→各店舗のフロアマネージャー、店員等にインタビュー。各店の売れ筋商品、価格、輸入者などへの聞き取り結果をまとめたもの。
 - 消費者に対する聞き取り調査
→高所得層、上位中所得層、下位中所得層、低所得層の4分類に分け、各分類ごとにインタビュー。
- 為替レート : 1円 ≒ 18タンザニア・シリング（2015年11月～2016年1月 期間中平均値、文中では「シリング」と表記）

売れ筋商品調査 ①

売れ筋商品：ポロシャツ（男性用）

	近代的店舗	近代的店舗	伝統的店舗
商品写真			
商品名	男性用ポロシャツ	男性用ポロシャツ	男性用ポロシャツ
メーカー	mrp（南アフリカ）	—	St.Michel
輸入元	Mr. Price （mrpはMr. Priceのブランド名と思われる。生産は南アフリカ・スワジランド。）	ALOSCO Holdings （生産国は中国）	古着問屋から買い付け （生産国は香港）
スペック	赤 Lサイズ 綿100%	黒白青のストライプ Lサイズ 綿100%	白と淡いグレーに赤と緑のライン Mサイズ 綿100%
価格	25,000シリング（約1,390円）	20,000シリング（約1,110円）	5,000シリング（約280円）
人気の要因	価格が手頃でデザインもよく、軽めの綿100%。同じデザインで白、ネイビーブルー、グレー、黒があるが、赤が人気がある。サイズ展開はS、M、L、XLで価格はすべて同じ。	15,000シリングの中国製のものも置いてあるが、この写真のポロシャツにはブランドロゴもあり、縫製もよりしっかりしている。デザインもスマート。	メリハリのあるすっきりとしたデザインで新品と遜色のない色合い。
調査店舗	Mr Price Mlimani City 店 （ムウエンゲ地区） 	MJ's （カリアコー地区） 	カルメ(Karume)市場 の一角の店 （イララ地区） 

売れ筋商品：ポロシャツ（男性用） — つづき —

■ 消費者インタビュー

< 高所得層 >

- **20代男性** (大学生): 「オレンジと黒のポロシャツを持っている。ブランド名はない。ムウエンゲ (Mwenge) の青空市場で新品のものを15,000～20,000シリングで買った。購入頻度は年によってばらばらだが、平均すると年に約3、4回程。ポロシャツはシンプルでかっこいいので着ている。好きなブランドはNikeやAdidas。軽い素材のものが好き。」
- **40代女性**: 「夫はたまに着ているが、中学生の息子は着ない。」
- **60代男性**: 「10着以上持っているが、すべてドライやモーリシャスなど海外に行った時に買ったもの。特にブランドにこだわらないが、BossやGuessのものも持っている。オンにもオフにも着用している。」

< 上位中所得層 >

- **20代男性** (大学生): 「ベージュ色のポロシャツを持っている。ブランド名はない。カリアコー (Kariakoo) の青空市場で新品のものを買った。年に2回程しか買わない。価格は12,000～15,000シリングぐらい。ほとんどの日は生地の薄いTシャツを着ているが、そんなに暑くない日にこのポロシャツを着る。POLOのブランドが好き。好きなデザインは特にない。」
- **20代男性** (大学生): 「黄色の持っている。持っているのはこの1枚だけで、破れたり汚くなったら新しいものを買う。今持っているのは、地元 (= 出身地 カゲラ: Kagera) で11,000シリングで買った。そんなに着ないが、暑くない時に時々着る。好きなブランドはない。もし次買うなら、赤か黒を買いたい」
- **50代男性**: 「4枚持っている。自分で買ったものもあるが、プレゼントでもらったものや、同じ教会に通うメンバーとおそろいで作ったものもある。カリアコーで新品のものを15,000～20,000シリングで購入した。家でくつろぐ時に着ることが多い。白色のものも持っているが、汚れやすいのであまり好きではない。」
- **60代男性**: 「若い時には着ていたが、今は着ていない。」

< 下位中所得層 >

- **20代男性**: 「持っていない。嫌いではないが好きでもないので、買おうとは思わない。」
- **30代男性**: 「2枚持っている。カリアコーの市場で新品をそれぞれ10,000シリングで購入。色は白と黒。主に週末や休日に着用。でも普通のTシャツの方が着なれている。」
- **40代男性**: 「3枚持っている。2枚は露店商人から買った古着で、赤系の色でそれぞれ4,000シリング前後だった。もう1枚はカリアコーで新品を15,000シリングで購入した。色は白。運転手の仕事をしており、制服は特にないが、仕事で着るにはカジュアルすぎると思うので着ていない。もっぱら土、日などの仕事のない日に着ている。次は黒か青色のものを買いだいたいと思う。」
- **50代男性**: 「3枚持っている。すべてカリアコーで購入した。新品の1枚は妻が3年前に選んでくれた白いもので値段は16,000シリング。古着は状態の良いものを選んだため、12,000シリングと高めの値段だった。色柄は、赤とクリームと茶のストライプで、去年購入した。週末や休日に着ているが、教会には着ていけない。」

< 低所得層 >

- **10代男性**: 「キノドニーの店で買った25,000シリングの黒い新品を1枚と、カリアコーの市場で買った3,000シリングの赤の古着を持っている。週末に着ている。」
- **20代男性**: 「1枚持っている。前に着ていた青色のものがダメになったので、先月ブグルニ (Buguruni) の市場で5,000シリングで古着の黒のものを購入。黒が好きなので。週末などに着用している。」
- **40代男性**: 「3枚持っている。1枚は新品。赤と黒の組み合わせの色とデザインが気に入り、カリアコーの市場で8,000シリングで購入した。サッカーチームの“Simba”のファンなので、赤が好き。ライバルチームの“Yanga”の色である黄色の服は1枚も持っていない。2枚は古着。カルメ (Karume) 市場で10,000シリングで購入。色はグレー。古着の方が丈夫でいいものが買える。通勤にも着用している。」
- **50代男性**: 「6枚持っている。2枚は新品で妻がカリアコーで買ってきた。1枚15,000シリングほど。色柄は、黒と赤と白のストライプ。4枚はブグルニの市場で購入。1枚3,000シリングほど。メーカーのロゴが付いたものだと言った状態がよくても安く買える。普通のTシャツより着ていて落ち着く。仕事着にもしている。」
- **60代男性**: 「昔は着ていたけど、今は持っていないし、着ない。」

売れ筋商品：ポロシャツ（男性用） —つづき—

消費特性

ポロシャツはタンザニアでは「Tシャツ・フォームシックス」と呼ばれていて、中学校の制服というイメージがある。会社のロゴを入れてユニフォームなどにもよく使われている。特におしゃれな若者などは着用しないかと予想したが、実際は着用しているようだ。若者の方が黒や白など渋めの色合いのものを好む傾向にある。一方で年代を問わず、明るめの色のものが人気があると思われる。何色か色が入った横じまのものを着ている人もよく見かけ、50代以上の人も真っ赤なポロシャツなどを着ている。ポロシャツは会社や教会に行く際には着ないという人もおり、一般的にカジュアル着という認識があるようだ。

綿100%のものが人気があり、サイズは日本でいうLサイズのもがよく出ているという店の人の話だった。売れ筋商品としては取り上げなかったが、60,000シリング以上の比較的高価なポロシャツも売られている。その一方で、古着の存在も大きい。古着にもランクがあり、ランクの良いものは安い新品を凌ぐと言う人も多い。

売れ筋商品：ポロシャツ（女性用）

	近代的店舗	伝統的店舗	伝統的店舗
商品写真			—
商品名	女性用ポロシャツ	※女性用のポロシャツは販売していない。	※女性用のポロシャツは販売していない。
メーカー	Splash (U.A.E.)	—	—
輸入元	Slpash Fashion (生産国は中国) http://www.landmarkshops.com/splash	トルコからオーナーが買い付けてくる。	—
スペック	Sサイズ 綿100%	女性用Tシャツ Mサイズ 綿100%	—
価格	22,000シリング (約1,220円)	15,000シリング (約830円)	—
人気の要因	ポロシャツはこのデザイン1つだけ。細身のライン。サイズ展開はXSからXLまで (Sが日本標準のMの大きさと思われる)。赤、緑、オレンジ、青、黒、白とこの色があるが、この色は人気。ほかに黒と白も人気がある。	女性用ポロシャツはほとんど動きがないので、仕入れていない。写真のような飾りのあるTシャツが人気がある。その他、よく売れているのはタンクトップ。小中学生が制服の下に着用するために購入していく。ブラジャーの代わりにもしているようだ。	ポロシャツは取り扱っていない。タンザニアでは「Tシャツ・フォーム6」と呼ばれていて、学校の制服用というイメージがあるようだ。この型のシャツは、学校だけでなく、会社や政党などのユニフォームに使われることが多く、それらのイメージがあるので、特におしゃれな女性たちにはあまり人気がない。
調査店舗	Splash (Msasani City Mall内 Msasani地区) 	CongoDDC No.3 (カリアコー地区)  カリアコーの一角	Triple R (ウブンゴ地区)

売れ筋商品：ポロシャツ（女性用） —つづき—

■ 消費者インタビュー

<高所得層>

- **9歳・女兒**：「学校の制服がポロシャツ。他にも2枚ほど持っている。」
- **40代女性**：「自分は着ない。暑いし、おしゃれじゃないから。」
- **40代女性**：「持っていない。着ない。」
- **50代女性**：「数年前に海外で買ったのを持っているが、ここで着ると暑く感じるので着ていない。」

<上位中所得層>

- **20代女性**：「持っていない。買ったことがない。デザインが嫌い。」
- **20代女性**：「持っていない。デザインが好きではない。」
- **20代女性**：「持っていない。嫌いというわけではないが、買おうとは思わない。」
- **20代女性**：「3枚持っている。新品2枚は15,000シリングと20,000シリングでカリアコーの市場にて購入。古着は10,000シリングでウブンゴ (Ubungo) の露店で購入。古着は好きなピンク色だったので。ビーチに行く時などにも着る。綿製品なので着ていても暑さは感じない。」
- **30代女性**：「会社のキャンペーンなどの時にユニフォームとして着るが、普段は着ない。」

<下位中所得層>

- **20代女性**：「持っていない。デザインが好きではない。」
- **20代女性**：「2枚持っている。新品の赤とオレンジ色でそれぞれ価格は9,000シリングほど。カリアコーで購入。週末に着ている。職場には着て行かない。」
- **40代女性**：「おしゃれなイメージがないので着ない。」
- **40代女性**：「持っていない。」

<低所得層>

- **20代女性**：「形は好きだけれど、持っていない。」
- **30代女性**：「持っていない。形が好きではないから。」
- **40代女性**：「持っていない。」
- **40代女性**：「カリアコーの店で買った15,000シリングの黒の新品と、カルメ市場で買った5,000シリングの白い古着を持っている。着たいときに着ている。」

■ 消費特性

ポロシャツはタンザニア女性にはあまり好まれないようだ。日本のファストファッションの量販店のような店舗（前述の“Mr.Price”や“Splash”など）には取り扱いがあるが、どこも大体、色のバラエティーはあれど、デザインは1種類ということが多かった。インタビューではカリアコーの市場などで購入したという人がいたが、カリアコーで洋服の小売店を7軒ほど調査したが、女性用ポロシャツを売っている店には行き当たらなかった。

インタビュー結果にもあるように、ポロシャツを着ると暑く感じるようだ。ユニフォームという印象もあり、体にぴったりした服装を好む傾向のあるタンザニアの女性の嗜好とはあまり合わないのだと思われる。

売れ筋商品：スニーカー（男性用）

■消費者インタビュー

<高所得層>

- **20代男性**（大学生）：「スニーカーは好きなのでたくさん持っている。いつもムウエンゲの市場で、価格が50,000～70,000シリングの新品を買っている。購入頻度は年に3回ほど。NIKE、Air Jordan（NIKE）、Converse、adidasが好き。中でもハイカットのデザインを好んで履いている。」
- **40代女性**：「中学生の息子はNIKEやadidasなどのスニーカーが好きなので、ドバイなど外国に行った時に買うことが多い。」
- **60代男性**：「4足ほど持っている。NIKEやasicsのものなど。全部ドバイなど海外で購入した。最近はジムなどで運動する時に履いたりしている。」



<上位中所得層>

- **20代男性**（大学生）：「いつもカリアコーの市場で35,000～50,000シリングくらいの新品を買っている。購入頻度は年3回程度。よく履くのはスリッポンタイプのスニーカー。デザインがシンプルで脱ぎ履きしやすいので。好きなブランドはadidasやVans。」
- **20代男性**（大学生）：「紐で結ぶタイプのノーブランドのスニーカーを持っている。買ったのは地元（Kagera州）で、15,000シリングで中古のものを買った。購入頻度は年に2回ほど。デザインがカッコいいので履いている。好きなブランドはadidasで、赤色のスニーカーが好み。」
- **50代男性**：「10年前に、仕事のために必要で買ったものを今でも履いている。新品をカリアコーで購入した。革を使ったデザインで、とても丈夫。メーカーは分からない。平日は毎朝2kmほどジョギングしているが、その時に履いている。」

<下位中所得層>

- **20代男性**（大学生）：「今は、スニーカーは持っていないが、買ったことはある。ウブンゴで7,000シリングで買った。購入頻度は年2回ほど。特にブランドにはこだわらない。」
- **30代男性**：「履く機会がないので持っていない。」
- **40代男性**：「週末の体力作りの時に履く。紐で結ぶ白い運動靴を1足持っている。カリアコーで中古を昨年15,000シリングで購入。スニーカーのブランドのロゴが入っている。」
- **50代男性**：「カリアコーで買った中古の赤いものを散歩の時などに履いている。価格は10,000シリングだった。ブランド名は書かれてない。いいものを探せば中古は新品よりも丈夫なものがあると思う。」
- **60代男性**：「2年ほど前にマゴメニ（Magomeni）の市場で買った中古のもの。たしか4,000シリングくらいだった。週末や休日、散歩のときに履く。紐を結ぶ必要のない履きやすいものがある。」



<低所得層>

- **10代男性**：「2足あり、両方ともハイカット。ひとつはカリアコーで新品を30,000シリングで買った。もうひとつはカルメ市場で買った中古で20,000シリング。2つともお気に入り、しょっちゅう履いている。」
- **20代男性**：「1足持っている。半年くらい前にカルメ市場でハイカットのスニーカーを中古で購入。状態の良い格好の黒色のものが手に入った。価格は25,000シリング。週末、友だちと出かける時などに履いていく。」
- **40代男性**：「半年前に友人からもらったものが1足ある。スニーカーのブランドのロゴがある。NIKEやReebokのものは丈夫でデザインもいいと思う。休日にはこの靴で2時間くらい歩いたり走ったりしている。休日にそういうことをしている人が大勢いる。」
- **50代男性**：「2足持っている。2010年に行商人から買った中古の白いランニングシューズを、毎朝のジョギングの時に履いていたが、擦り切れてきた。そのため、昨年頭に黒いシューズを中古で行商人から購入。価格は両方とも10,000シリング。」
- **50代男性**：「1年前に、ブランド品の中古のランニングシューズを25,000シリングでカルメ市場にて購入。朝や夕方に体力保持の運動をする時に使っている。」



売れ筋商品調査 ⑥

売れ筋商品：スニーカー（男性用） —つづき—

■消費特性

スニーカーは当地では「ラバ(Raba=ゴムの意)」と呼ばれており、「スニーカー」と言っても通じないことが多い。若者のステイタスシンボルを満たすおしゃれ用と中高年の体力維持のための運動用に分かれるようだ。カリアコーの市場の小売店などでは、ファッション性の高いスニーカーが25,000シリング前後で売られているが、数回履いただけで壊れてしまうものもある。若者は、中古市場で状態のいい掘り出しものを探したりしているようだ。ブランドにこだわったり、ハイカットのものを好むなど、若者たちの嗜好には欧米の流行の影響も見受けられる。

最近では、低所得層でも健康のためジョギングなどをする人が増えているようだ。実用的で丈夫なランニングシューズの需要も見込まれる。



カリアコーの靴小売店

売れ筋商品：スニーカー（女性用）

■消費者インタビュー

<高所得層>

- 40代女性**：「男女ともジョギングなど運動をする人が増えてきたので、スニーカーの需要があるのではないかな？自分は履かないが。」
- 40代女性**：「持っていない。履かない。」

<上位中所得層>

- 20代女性**：「持っていない。着ている服に合わないので、買わない。」
- 20代女性**：「持っていないが、好き。ハイカットのスニーカーがかっこいい。好きなブランドはない。」
- 20代女性**：「持っていない。好きではない。」
- 20代女性**：「中古の靴を2足持っている。探すとデザインのいいものがあるし、新品より丈夫だったりするので。それぞれ10,000シリングと15,000シリングでムウエンゲの市場で購入。紐で結ぶタイプで少し厚底。毎夕のジョギングの時に履く。ひとつはピンク色、もうひとつは黒に黄色のストライプが入ったデザインのもの。メーカーは分からない。」
- 60代女性**：「健康維持のためのウォーキングの時に履くランニングシューズを1足持っている。新品で購入したが、価格は忘れた。」

<下位中所得層>

- 20代女性**：「持っていない。履き心地が暑そうなので買おうとは思わない。」
- 20代女性**：「持っていない。必要性を感じない。」
- 40代男性**：「妻(40代)は、履かないし持っていない。」
- 40代女性**：「1年程前にカリアコーで買った15,000シリングの中古の白のものを持っている。健康維持のためのウォーキングなどの時に履いている。」

<低所得層>

- 20代女性**：「持ってない。必要性を感じないので欲しいと思わない。」
- 20代女性**：「行商から中古のものを1年前に20,000シリングで購入。親戚を訪ねて地方に行く際、たくさん歩くので役に立つ。」(右写真)
- 30代・40代・50代 各女性**：「持っていない。」



(右) 中古で2万シリングのスニーカー

売れ筋商品調査 ⑦

売れ筋商品：スニーカー（女性用） —つづき—

消費特性

まだ需要は少ないようだが、若者も含め、健康志向の人たちがでてきているので、だんだんと需要は増えていきそう。明るくきれいな色のものが好まれ、若者はブランドにもこだわりがあるようだ。女性用スニーカーにおいても中古市場の人気は高い。



女性用は明るい色合いが好まれている

売れ筋商品：サンダル（男性用）

	近代的店舗	伝統的店舗	伝統的店舗
商品写真			
商品名	サンダル	サンダル	サンダル
メーカー	米国のメーカー	—	—
輸入元	LEATHEREX LTD.	—	タンザニア製
スペック	サイズ:42	サイズ:42	サイズ:8
価格	265,000シリング(約14,720円)	30,000シリング(左・右とも)(約1,670円)	30,000シリング(約1,670円)
人気の要因	アメリカのブランドで、ベルトが3本になっているので、見た目にもおしゃれだし、安定感がある。	年配者には左のものが喜ばれる。足を覆う部分が革製。履きやすい。若者には右のデザインが売れている。踵でちゃんと止まるので動きやすいし、おしゃれに見える。	自分のサイズで好きなデザインや革の色を選んでオーダーできる。出来上がりまでは2日から5日ほど。
調査店舗	BRAND HOUSE LTD. (街中のMakutaba通り) 	No.10(カリアコー地区 Congo St.)	店名なし(ウブンゴ地区)

売れ筋商品：サンダル（男性用）

■ 消費者インタビュー

< 高所得層 >

- **20代男性**（大学生）：「革のサンダルを履いている。いつもカリアコーやムウエンゲで、30,000～40,000シリングの新品を買っている。購入頻度は年に1回ほど。海によく行くのでサンダルをよく履く。また、見た目がシンプルなものが好き。好きなブランドは特にない。」
- **40代女性**：「夫や子どもは革製のサンダルを履くことが多い。」
- **60代男性**：「革製のものを2足持っていて、交互に履いている。たまに仕事場にも履いていく。ドバイなど海外で購入した。」

< 上位中所得層 >

- **20代男性**（大学生）：「革の鼻緒のあるものを履いている。ムウエンゲの市場で15,000シリングの新品を買った。購入頻度は年2回ほど。履いていて涼しいのでよく好んで履いている。特に好きなブランドはない。革製のものが好きで、親指の所にも通す穴がついているものがよい。」
- **20代男性**（大学生）：「ベルト部分の広いビーチサンダルを履いている。地元（＝出身地 タンガ：Tanga）で、20,000～50,000シリングの新品を買った。購入頻度は年4回ほど。サンダルの見た目が好き。特に好きなブランドはない。」
- **50代男性**：「ゴム製のビーチサンダルを家の近所やシャワーを浴びる時などに使用。近所の店で2,200シリングくらいで購入。半年ほどでダメになるので買い替えている。それ以外のサンダルは持っていない。」

< 下位中所得層 >

- **20代男性**（大学生）：「このサンダル*1を履いている。カリアコーの市場にて20,000シリングで新品を買った。購入頻度は、いい物があったら買うので年によって異なるが、年に約4回ほど。履いていて暑くないのでよく履く。」
- **20代男性**：「今は持っていないが、革製のものを買いたいと思っている。」
- **30代男性**：「革製の鼻緒のあるものを昨年6月に購入。カルメ市場で20,000シリングだった。1足をだいたい1年で履きつぶす。週末だけでなく、イスラム教徒（ムスリム）の正装（カンズという長いワンピースのような衣装にコフィアと呼ばれる帽子）の際にもサンダルを履く。タンザニアのムスリム男性の90%は正装時にサンダルを履いている。そのサンダルは革製でもプラスチック製でも、デザインもそれぞれ好きなもので構わないとされている。」
- **40代男性**：「革製のものをカリアコーの市場で昨年購入した。新品で価格は30,000シリング。鼻緒のあるデザイン。仕事のある日は革靴だが、仕事のない日に履く。」
- **40代男性**：「いわゆるマサイ・サンダル*2。マサイが行商している革製のサンダルを買って履いている。価格は10,000シリング程度。丈夫で、主に休みの日に履いていて2年はもつ。」



*1



ムスリムの正装であるカンズとコフィアを着用している男性。足元はサンダルを履いている。

*2: 10ページ「売れ筋商品：サンダル（女性用）」を参照

売れ筋商品：サンダル（男性用） —つづき—

■ 消費者インタビュー —つづき—

<低所得層>

- **30代男性**：「いつも中古タイヤを使って作ったものを履いている。8,000～10,000シリングくらいで露店などで買える。」
- **40代男性**：「2足持っている。1つは友人にもらった合成樹脂製のスリッポンタイプのもので、もう1つは革製の中古でムウエンゲの市場で購入。価格は15,000シリングだった。普段履きには近所で買った2,000シリングのビーチサンダルを履いている。」
- **50代男性**：「2足持っていて、1足はマサイの行商から買った革製のもので10,000シリング。雨の日に履かなければ長持ちする。もう1つはカルメ市場で買った中古のプラスチック製のもので7,000シリング。中国製で半年くらいしか持たないが、履きやすいので買った。普段は2,000シリングほどのビーチサンダルを履いている。」
- **50代男性**：「去年6,000シリングで購入した中国製のプラスチック製のものと、やはり去年10,000シリングで購入した鼻緒のあるゴム製のサンダル*3を持っている。両方とも新品で行商人から購入した。足が浮腫むようになったので普通の靴が履きにくく、普段はもっぱらサンダルばかり履いている。」
- **60代男性**：「サンダルは持ってない。普段履きはゴムのビーチサンダル（ビーチサンダルは、タンザニアではサンダルの範疇に入らないらしいで、2,000シリングのものを履いている。」



古タイヤで作られたサンダル



*3: 鼻緒が付いたゴム製サンダル

■ 消費特性

一年中、夏の気候ということもあり、多くのタンザニア人男性にとってサンダルは必要なアイテムだろう。人口の約半数はイスラム教徒（ムスリム）と言われるが、彼らの正装時の履物もほぼサンダルである。

中高年には革製、あるいは合皮のバックストラップのない脱ぎ履きしやすいタイプ（タンザニアの伝統的な家では、家の中に入る時に履物を脱ぐので、脱ぎ履きしやすいものの方がいいということもあるだろう）、若者には軽快に歩いて、見た目もいい足首にストラップがあるタイプのサンダルが好まれるようだ。

タンザニアで皮革が調達できるため、売れ筋商品でも取り上げたように、街角の靴職人たちが手作りのサンダルを販売しており、比較的低価格で履きやすいサンダルが手に入る。後述の女性用サンダルで登場する“Woiso Original Products”というタンザニア人がオーナーの製靴工場もある。

調査中、インターネットでサンダルを購入しているという人には出会わなかったが、タンザニア人向けのオンラインショップのウェブサイトもある。

下記のショッピングサイト“JUMIA”の商品を見ていると、好まれるデザインと価格の傾向が見えてくる。

<https://www.jumia.co.tz/men-sandals/>

なお、こちらのサイトでは男性サンダルだけでなく、洋服、電化製品なども取り扱っている。

また、サイトの説明にはビジネスパートナーとしての参入もできるとの記載がある。

タンザニアにおける売れ筋の傾向を知るには便利なサイトである。

インタビュー結果から、15,000～50,000シリングくらいがタンザニアにおける新品のサンダルの標準的な価格と思われる。近代的店舗でアメリカのブランドを取り上げたが、日本円にして15,000円近くするサンダルも商品として勝負できるようになってきたというのは驚きである。今までサンダルを海外で購入していたような高所得層の関心を、タンザニア国内でのショッピングに向ければ市場の拡大に繋がる可能性もある。

売れ筋商品調査 ⑩

売れ筋商品：サンダル（女性用）

	近代的店舗	近代的店舗	伝統的店舗	伝統的店舗
商品写真				
商品名	サンダル	マサイ・サンダル	サンダル	サンダル
メーカー	中国のメーカー	Wiso Original Products (タンザニア)	—	FM Shoes (中国)
輸入元	店のオーナーが中国で買い付けてくる。(中国製)	タンザニア製	—	—
スペック	・フラットソール	・フラットソール ・革とビーズ ・サイズ: 36～42	・フラットソール ・踵のないタイプ ・サイズ: 5	・フラットソール ・サイズ: 41
価格	70,000シリング	15,000シリング	15,000シリング	10,000シリング
人気の要因	・流行に乗ったおしゃれなデザインなのにフラットで歩きやすい。 ・濃い赤色も人気。	・履きやすい。 ・色鮮やかで、ビーズの組み合わせによるデザインもいろいろと選べる。	・履きやすい。 ・おしゃれ感があり、現在、大変売れている商品。	・色が4色(他に黒、青、黄)あって選べる。 ・鮮やかな見た目がおしゃれ。 ・履き心地が軽い。 ・価格が手ごろ。 ・女性たちにはフラットなヒールのものが人気がある。 大元の卸業者からの仕入れは大量購入が必要なため、仲買人から仕入れている。5足まとめて買うと、1足7,000シリングで卸してもらえる。販促として、SNSなども使って宣伝している。
調査店舗	HARRYMO STORE (オイスターベイ地区 DAR FREE MARKET 内) 	Wiso Original Productsの ショップ(クンドウチ地区) 	LADY D FASHION (カリアコー地区) 	20代の女性が、個人で口コミで販売している。 (ミコチェニ地区)

売れ筋商品：サンダル（女性用） —つづき—

■ 消費者インタビュー

<高所得層>

- **9歳・女兒**：「クロックス社製の合成樹脂製のサンダルが楽に履けるので、本当はサンダルで学校に行ってはいけ
ないけど、履いていくこともある。他にも3足持っているが、海外で買ってもらったもの。」
- **40代女性**：「タンザニアで作られ、よく売られている、マサイ・サンダルと呼ばれている平たい革底でビーズの飾り
の付いたサンダルを履いている。数種類持っている。1足15,000シリング。
中国製のサンダルだと新品でも10,000シリングくらいからあるが、すぐ壊れてしまったことがあり、買わない。」
- **40代女性**：「10足以上持っている。すべて海外で購入。」

<上位中所得層>

- **20代女性（大学生）**：「このサンダル*4を履いている。地元（＝出身地：
ムベヤMbeya）に帰った時、5,000シリングで新品を購入。購入頻度
は年に7回ほど。見た目がかわいいので履いている。フラットな
サンダルが好き。」
- **20代女性**：「このサンダル*5を履いている。カリアコーの市場で
新品を2,500シリングで買った。購入頻度は年に6回ほど。サンダ
ルは履いていて疲れにくく、たくさん歩けるので好き。好きなブラン
ドはない。」
- **20代女性**：「新品を3足、中古を2足持っている。新品はカリアコーの市場で15,000～20,000シリングで買った中国
製のもの。最新流行のデザインのものがほしい時に買う。新品で買ったマサイ・サンダルも持っている。中古は
新品より丈夫なことが多いし、おしゃれな一点ものが手に入る。カルメ市場で8,000～10,000シリングほど。普段は
フラットソールを履いているが、パーティなどの時にはハイヒールも履く。」



*4



*5

<下位中所得層>

- **20代女性（大学生）**：「このサンダル*6を履いている。お気に入り。地元（＝出身地 カハマ
Kahama）で、新品を5,000シリングで買った。購入頻度は7～8回ほど。履いていて楽で暑く
ないので好んで履いている。好きなブランドはない。」
- **20代女性**：「いくつか持っている。新品はカリアコーの市場で5,000～6,000シリングほどで
購入。普段履きにしている。中国製だと思う。中古サンダルの方が価格が高いものを
買って8,000～12,000シリングほど。おしゃれで丈夫なものがあるので。こちらは
ムウエンゲの市場で購入。教会に履いていくこともある。15,000シリングするが、マサイ・
サンダルも好きで持っている。平底のものが歩きやすくて好き。たまにオフィスにも履い
ていく。」
- **40代女性**：「マサイ・サンダルが好きで、タンザニア製だけでなく、25,000シリングと少し高めだが、底が厚めでさら
に丈夫な「ナイロビ」と呼ばれるケニア製のものも持っている。ウブンゴ地区の店で購入した。」



*6



オイスターベイ地区のDAR FREE MARKET外観

JETRO

売れ筋商品：サンダル（女性用） —つづき—

■消費者インタビュー —つづき—

<低所得層>

- **20代女性**：「3足持っている。すべて中古品ではなく新品。1足は黒の革製。ボマ(Boma)の市場で15,000シリング。もう1足は、平底の鼻緒のある赤と白の革製のものは、マンゼセ(Manzese)の店で25,000シリング。両方とも外出時、教会などに行く時に履く。普段履きは近所で買った2,000シリングのビーチサンダル*7。いつも履いているので3か月くらいしか持たない。」
- **30代女性**：「4足のうち、新品は2足。1足はカリアコーの市場で7,000シリング。革製でフラットタイプの黒。もう1つはキノンドーニ(Kinondoni)の店で10,000シリングで買った*8。妊娠中だったので軽めのものが欲しかったから。一度ベルトが破れたので、修理屋に直してもらってまた使っている。中古のものは鼻緒のある履きやすいもので5,000シリングほど。ボマ市場では中古靴の卸売もしていて、3,000シリングくらいから、そこそこのサンダルが買える。」
- **40代女性**：「マサイ・サンダルが好きで3足持っている。それぞれ15,000シリング。ムウエンゲの市場で購入した。」



*7



*8

■消費特性

フラット・ソールで派手なデザインや色合いのサンダルが人気があるようだ。タンザニアの女性にとってサンダルは必需品であろう。

年代や階層に関わらず、ビーズを使ったタンザニア製のマサイ・サンダルの人気は高い。価格もそこそこで、カラフルで目立ち、同じものを履いている人に出会いにくいという魅力もあるのだろう。女性用のマサイ・サンダルも街角などで手作りしている職人たちがいる。

新品で2,500シリングの安価なサンダルもあり、中国製と思われる。概して若い女性たちは新しいデザインのものを次々と試したいようなので、「安くたくさん購入できるもの」の人気の高い。とはいえ、安いが、品質面で不安があると考えられている中国製品などへの評判はあまりよくないようだ。

近年、伝統的店舗への中国製品の流入は勢いを増している。売れ筋をキャッチしてすぐに新たな商品を作り、タンザニア人の若者たちを移動販売の売り子にして、販路を拡大している。

なお、サイズ表示はイギリス式とヨーロッパ式が両方とも使われている。